



営農ウィークリーNEWS

京都府花き生産組合連合会枝物部会総会開催

3月4日（火）JA 京都丹後駐在所にて京都府花き生産組合連合会枝物部会の通常総会が開催されました。枝物部会は、京都府内枝物花きの生産拡大と技術交流を目的として、2023年に設立されました。

部会では、京都府産のコットンフラワー「都っとん」の生産拡大に取り組んでおり、いけばなイベントでの展示など、様々なPR活動を行ってまいります。

総会後は、京都生花㈱、京都府農業改良普及センターから、枝物花きの情勢や生産技術についての研修会が開催されました。



▲瀬戸部会長による挨拶



▲2024年度取組み報告



▲研修会の様子

—TAC information— 茶香服(ちゃかぶき)体験開催



2月27日（木）に向島支店管内の向島茶生産部会は、京都市立向島小学校でお茶の種類などを当てる「茶香服（ちゃかぶき）」の体験会を開催しました。

茶香服とは、宋時代の中国で始まり、貴族や武士の間で流行したお茶を飲み比べ品質を飲み当てるゲームです。今回は、玉露・碾茶・煎茶・玄米茶・ほうじ茶の5種類を飲み比べを小学生に体験していただきました。



予報本文

チャ

1 カンザワハダニ

予報内容 発生量：山城：平年比やや少ない（前年並）
丹波：平年並（前年比やや少ない）
丹後：平年並（前年並）

予報の根拠

- (1) 2月第5半旬現在、発生量は山城で発生を認めず（平年比やや少（一））、丹波で平年並、丹後では発生を認めなかった（平年並）。
- (2) 産卵は山城、丹波、丹後のいずれの地域でも認めず、産卵葉率は山城、丹波及び丹後で平年並。
- (3) 発生ほ場率は山城で平年比やや少なく、丹波及び丹後で平年並。
- (4) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並と予想されている。

地域	項目	本年	平年値	前年値
山城	寄生葉率（％）	0.0	0.3	0.1
	産卵葉率（％）	0.0	0.1	0.0
	発生ほ場率（％）	0.0	12.5	4.5
丹波	寄生葉率（％）	0.2	0.2	0.0
	産卵葉率（％）	0.0	0.0	0.0
	発生ほ場率（％）	16.7	10.0	0.0
丹後	寄生葉率（％）	0.0	0.4	0.0
	産卵葉率（％）	0.0	0.0	0.0
	発生ほ場率（％）	0.0	25.0	0.0

発生生態及び防除上注意すべき事項

- (1) 越冬雌成虫は休眠から醒めると、体色が朱色から濃赤色に変わり、活動を始める。
- (2) 卵は日数が経つにつれ、透明から黄色となり、ふ化が近づくと赤みを帯びる。
- (3) 越冬虫数が多いと、春期の発生も多くなる傾向がある。気温が上昇し、暖かく晴れた日が続くと、急速に産卵、増殖するので注意する。
- (4) 幼若虫の発生が認められる園では、防除適期を逃さないよう注意する。
- (5) 一番茶期の農薬散布を避けるため、萌芽前の防除を徹底する。
- (6) 毎年多発する園や秋期に防除しなかった園では、特に注意する。

参 考

I 近畿地方 1か月予報

（2月22日から3月21日までの天候見通し）

令和7年2月20日
気象庁 発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下の通りです。

近畿日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の気温は平年並ですが、1週目は寒気の影響を受けやすいため気温が低く、2週目は寒気の影響を受けにくいいため気温が高くなり、気温の変動が大きいでしょう。

降水量と日照時間はほぼ平年並。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）>

	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気 温	3 0	5 0	2 0
降水量（日本海側）	4 0	3 0	3 0
降水量（太平洋側）	4 0	3 0	3 0
日 照 時 間	3 0	3 0	4 0

病害虫防除所では上記の天候の1か月予報の表現を「向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並と予想されている。」としました。